

浜学園	6年							
	算数							
学習内容	8月の学習内容 No.20 速さ(1) No.21 速さ(2) No.22 通過算・流水算 No.23 時計算・点の移動 No.24 速さの発展							
家庭学習ポイント	6年生のこの時期になると、1回の授業で扱う内容が膨大です。No.20と21で速さに関する問題のうち、No.22 /23で扱うもの以外すべて演習するという内容になっています。具体的にはNo.20ではオーソドックスな旅人算から「N回目の出会い」、一方が歩いたり休んだりするもの、そしてつるかめ算を使って解く速さの問題など、No.21では比を使って考えるさまざまな速さの問題を考えます。いずれも単体で「解き方を覚える」のではなく、これまでに習った様々な分野の考え方を総動員し「途中で速さが変わるなら、速さの比を使って考えれば」「合計時間がわかっているなら、つるかめ算の考え方が使えるかも」といったように、糸口を自分でつかむ訓練をすることが大切です。一方でNo.22 の通過算・流水算、No.23の時計算・点の移動は「このタイプの問題は必ずこのように対処すべき」ということが具体的に決まっているタイプの問題です。通過算は必ず列車の図を書く、流水算は「上・下・静・流」4つの速さをメモに整理してとりかかる、など「定番」の対応法を確認しておきましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	速さの問題で積極的に比の考え方を使っていますか？						チェック
	解決策	考え方がシンプルになる、計算が楽に早くなる、などメリットは計り知れないですね						□
	チェック2	「峠の問題」では「峠の図」を書いていますか？						チェック
	解決策	ここでもちょっとした手間を「端折る」ことが無いよう、必ず書きましょう						□
	チェック3	通過算では列車の図を書き「最も離れている点」に印を打っていますか？						チェック
	解決策	「最も離れている2点が出会う、追いつく」と考えると列車の長さを考えずにすみシンプルですね						□
	チェック4	流水算は「上りの速さ・下りの速さ・静水上の速さ・流速」を書き出して解いていますか？						チェック
	解決策	間違わない子は、簡単に見える問題でも書いているものです						□
	チェック5	時計算では必ず時計の図を書いて解いていますか？						チェック
	解決策	ここでも「こんな問題は間違わない」と高をくくったときが危ない、と心得ましょう						□
浜学園	6年							
	国語							
学習内容	7月の学習内容 「説明的文章」 「文学的文章」 「文法」							
家庭学習ポイント	説明的文章では、文章の要旨をつかむ練習です。これまでに学習してきた通り、まずは文章の冒頭、話題提起やタイトルなどにも注意して、文章の「話題」をつかみます。そして各段落の「中心文」に線を引き（中心文は「つまり」「すなわち」「ようするに」「このように」や「～するべきである」といった表現をヒントにみつけましょう）、各段落の中心文をくらべながら「結論段落」を探す、といった手順です。「結論段落」（必ずしも最終段落とは限らない）で述べられている「筆者が最も言いたいこと」が要旨であり、各段落の中心文（要旨）を簡単にしてつなぎ合わせたものが「要約」ですね。文学的文章でも、これまでに学習してきた作業の演習です。物語の場面変化や情景描写から、登場人物の心情を読み取っていきましょう。「完全制覇」の「学習のポイント」にのっとって文章を実際に読み「理詰め」で国語の問題が解けることを実感できれば、6年生までの読解学習がかなり実を結んでいると言えますね。							
課題の把握と解決策	チェック1	説明文を読むとき、各段落の「中心文」を意識していますか？						チェック
	解決策	それぞれの段落の「中心文」に傍線を引きながら読んでいきましょう						□
	チェック2	文章の要約を「フィーリング」で書いていませんか？						チェック
	解決策	各段落の「中心文」をつないだ文章を意識して書いてみましょう						□
	チェック3	物語文を「主観的」に読んでいませんか？						チェック
	解決策	登場人物が経験した出来事などが描かれているとき「自分なら…」と考えないことが重要です						□
	チェック4	場面の変化、情景描写から登場人物の心情を読み取れていますか？						チェック
	解決策	情景描写ひとつとっても「無駄な文章はない」⇒「登場人物の心情に関連する」と考えましょう						□
	チェック5	今一つピンとこない表現があっても、そのまま何となく読んでいませんか？						チェック
	解決策	知らない表現は、親御さんや先生に「どんなニュアンスで使われるか」聞くことが大切です						□

浜学園	6年							
	理科							
学習内容	6月の学習内容 No.20　かっ車と輪じく No.21　浮力 No.22　力学総合 No.23　豆電球と乾電池 No.24　抵抗と電流による発熱							
家庭学習 ポイント	No.20「かっ車と輪じく」No.21「浮力」No.22 力学総合までは力学計算、そのあと電流の学習に入ります。力学計算の問題を正確に解くために上記の分野に共通して必要なことは、かかる力の大きさや向きを必ず図の中に書き込むことです。かっ車やてこが静止しているということは、左右、上下にかかる力がつり合っているということですから、１つでも見落としている力があると間違ってしまうます。また浮力は苦手とするお子さんの多い分野ですが「アルキメデスの原理」という「名前」はどうでもよく、「水を押しのけた分だけ」（この「おしのけたぶんだけ」が重要です）押し返されるということを「実感」として理解していれば簡単に解くことができます。水は1cm3あたり1gですから、100cm3押しのけると100gで押し返されます。これが浮力です。苦手なお子さんは、まず図を見て「水を何cm3押しのけているか」を確認しましょう。浮力の大きさがわかっている場合は、その大きさから逆に「水を何cm3押しのけているか」（水を押しのけた物体の水中部分の体積）がわかります。No.23 の電流もこれまでの総復習ですが、「乾電池＝電圧」「豆電球＝電気抵抗」の性質を今一度しっかり思い出しておきましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	かっ車の問題では、かっ車の左右のひもにかかる力の大きさを書き込んでいますか？						チェック
	解決策	大きさがわからない場合は両方「①」でいいですね						□
	チェック2	かっ車や輪じくは、つねに輪の中心が支点とは限らないと理解していますか？						チェック
	解決策	てこに置き換えて「支点」「力点」「作用点」を考える習慣をつけましょう						□
	チェック3	浮力の問題で、液体が水以外になると間違っていないですか？						チェック
	解決策	1m3の重さが1.2gの食塩水なら、1cm3押しのけると1.2g押し返します。「押しのかた分だけ」です						□
	チェック4	てこやかっ車の組み合わせ問題は苦手だ、と思っていませんか？						チェック
	解決策	基本は同じ。かかる力の大きさと向きを（わかるところから）図に書き込んでみましょう						□
	チェック5	電流、電圧、電気抵抗の「イメージ」を持っていますか？						チェック
	解決策	たとえば電流は流れる水、乾電池の電圧は水を押し出すポンプ、といった具合です						□
浜学園	6年							
	社会							
学習内容								
家庭学習 ポイント								
課題の把握と解決策								チェック
								□
								チェック
								□
								チェック
								□
								チェック
								□
								チェック
								□